

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 郡上特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年10月13日(金) 10:00~12:00
- 3 開催場所 郡上特別支援学校 大和校舎体育館
開催にあたり、委員による授業参観と授業体験を実施した
- 4 参加者

会 長	板倉 寿明	愛知淑徳大学講師	
	副 会 長	水野 正文	郡上大和総合開発株式会社代表取締役社長
	委 員	小澤 久美子	卒業生保護者代表
		石田 紀美江	元郡上市役所職員
		玉山 隆三	ダイアトップ株式会社代表取締役社長
		池戸 節子	郡上市社会福祉協議会相談支援専門員
		野田 美鈴	社会福祉法人ぶなの木福祉会理事長
		増田 雅幸	郡上市大和町栗巣地域住民
		山田 泰子	郡上市八幡町那比地域住民
		長屋 成博	P T A会長
	オブザーバー	森藤 文男	郡上市議会議員 (欠席)
	学 校 側	服部 秀明	校長
		吉田 孝弘	副校長
牧野 康弘		事務部長	
瀧下 直子		教頭	
長井 奈月		小学部兼中学部主事 (欠席)	
金田 麻巳子		高等部主事	
深澤 文貴		教務部長(教務主任)	
鷺見 智世		健康教育部長(保健主事)	
平野 倫史		生徒指導部長(生徒指導主事)	
島田 晃宏		進路指導部長(進路指導主事) (欠席)	
石原 貴子	地域連携部長(特別支援教育コーディネーター)		
大橋 央弥	研修主事		

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和5年度前期の学校運営について

意見1: 児童生徒の課題に沿った授業が工夫され、意欲的に取り組める活動だ。開かれた学校として地域の人との関わりも大切にし、経験的に学んでいる。

意見2: 知識だけでなく、生きるための知恵を学ばせることも大切だ。社会は知恵のある人を必要としている。知恵とは工夫する力、創造する力、自分で開発・改善する力であり、知恵つけさせるため、授業事前の準備が大切だ。授業の事前準備を充分に行い、授業を段取りよく進められるとよい。

意見3：紙すき体験では中学部生徒の説明が分かりやすくすばらしかった。

意見4：作業実習製品の名刺用台紙を再び販売してほしい。

意見5：保護者は自分の子育てに見通しがもてないことがある。希望をもって子育てができるよう、教師が保護者に児童生徒の強みを伝える等の働きかけをしてほしい。

意見6：保護者への一斉連絡方法として既読確認できるSNSがある。個人情報が出れずグループ핑でもできるアプリがあるので検討するとよい。

意見7：連絡手段としてICT機器を利用するが、人とのコミュニケーションや繋がりにおいて目と目を合わせた一対一の関係性も大切だ。

意見8：教師の働き方改革により教師も児童生徒も活気あふれる学校となる。

意見9：共生社会実現を目指しているが、特別支援教育が充実して手厚くなればなるほど、障がい者が社会から切り離され隔たりが生じるのではないかと懸念する。

意見10：児童生徒が自分自身の力で社会に順応する経験をさせることも必要だ。自ら考えて行動し、失敗してもいいので児童生徒の可能性を無限大に伸ばしてもらいたい。

(2) 学校評価アンケート結果と取組について

意見1：今年度はアンケートの質問の横に実績が添付されており、回答しやすかった。

意見2：高等部生徒が教師に関する質問で低い評価をしているが、厳しさと愛情をもって教育する場面も必要である。

意見3：高等部生徒の回答結果をよく分析し生かしてもらいたい。

意見4：小中学部の児童生徒と高等部の生徒は異なるフェーズにあるので、回答を分けて分析したほうがよい。

意見5：過年度共通の質問は過去3年間の結果と比較分析するとより実態がつかめる。

6 会議のまとめ

令和5年度前期の学校運営について全委員より承認が得られた。学校評価アンケート結果を踏まえ、各委員の経験や専門的な視点から幅広く出された意見を後期の学校運営に繋げていくことを確認した。地域住民ボランティア「Gujo Smile サポーターズ」の再構築等、後期の学校運営と来年度に向けた取組について確認し、会議を終えた。